# 平成23年度 財政状況資料集

								****	r a 45 ch il 5 ch	区分	平成	は23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円·%)	平成22年度(千円・%
	都道府県名		福島県	市	市町村類型	I-	- o	指定団体寺	の指定状況	歳入総額		3, 014, 734	2, 119, 588	実質収支比率		17. 4	18
								財政健全化等	×	歳出総額		2, 790, 915	1, 888, 961	経常収支比率		82. 6	77.
								財源超過	×	歳入歳出差引		223, 819	230, 627	(※1)		(88.3)	( 83. 7
	市町村名		葛尾村	地方	方交付税種地	2-	-1	首都	×	翌年度に繰越すべき財源		45, 313	19, 775	標準財政規模		1, 025, 461	1, 119, 2
								近畿	×	実質収支		178, 506	210, 852	財政力指数		0. 13	0.
		22年国調(人	) 1, 53	1		産業構造(※5)		中部	×	単年度収支		-32, 346	86, 075	公債費負担比率		10.3	17
	人口	17年国調(人	) 1, 62	5	,	主木悟道(小り)		過疎	0	積立金		276, 732	1, 346	健全化判断比率			
		増減率 (%	) -5.	8	区分	22年国調	17年国調	山振	0	繰上償還金		-	-	実質赤字比率		-	
		24. 03. 31 (人	) 1, 52	4	第1次	301	340	低開発	×	積立金取崩し額		275, 781	-	連結実質赤字比率		-	
住.	民基本台帳人口	23.03.31(人	) 1, 55	0	****	35. 7	38. 3	指数表選定	0	実質単年度収支		-31, 395	87, 421	実質公債費比率		7. 0	9
		増減率 (%	) -1.	7	第2次	245	283			基準財政収入額		117, 319	121, 314	将来負担比率		-	
	面積(k㎡)		84. 2	3	37 L J	29. 1	31. 9			基準財政需要額		935, 529	999, 525	資金不足比率(※4)			
人口	コ密度(人/k㎡)		1	_	第3次	297	265			標準税収入額等		145, 430	150, 449				
t	世帯数 (世帯)		47	0	3,000	35. 2	29. 8			経常経費充当一般財源等		799, 220	871, 453				
					職員の状況					歳入一般財源等		2, 283, 008	1, 468, 517				
	区分	定数	1人あたり平均	]		区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
		~~	給料月額(百円	)			(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在高		1, 498, 901	1, 616, 644				
	市区町村長	1	5, 01		一般職	<u></u>	28	92, 540	3, 305	うち公的資金		1, 359, 323	1, 435, 547				
特別	副市区町村長	1	1,00		校	消防職員	-	-		- 債務負担行為額(支出予定額)		3, 374	6, 013				
職	教育長	1	1, 21			技能労務職員	-	-		- 収益事業収入		-	-				
等	議会議長	1	2,21	U 等	等 教育公		3	10, 599	3, 533	土地開発基金現在高		51, 232	51, 130				
	議会副議長	1	.,		臨時職	員	-	-		- 財政調整基金 積立金 減停其金		842, 922	676, 971				
	議会議員	6	1, 63	0	合計		31	103, 139	3, 327	現在高		44, 509	44, 438				
					ラスパ	イレス指数(※6)		102. 8	( 94. 8	その他特定目的基金		1, 779, 380	440, 702				
一般	会計等の一覧		事	業会計0	の一覧			公営企業(法適)	の一覧	公営企業(法非適	の一覧		関係する一部事務約	11合等一覧	地方公社・第	第三セクター等一覧	
項番		会計名	項	番		会計名		項番	会計名	项番	会計名		項番	組合等名	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計		(2	2) 国民	健康保険					(5) 簡易水道			(6) 双葉地方広域市 ・一般会計	町村組合			
			,,										a、 双葉地方広域市	町村組合			
			()	3) 介護	<b>提保</b> 険								(7) 双葉地方広域市 ・下水道事業特	別会計			
			(4	4) 後期	高齢者医療								(8) 福島県後期高齢 ・一般会計	者医療広域連合			
													(9) 福島県後期高齢 ・後期高齢者医	者医療広域連合 療特別会計			
													(10) 福島県市町村総 ・一般会計	合事務組合			
													・一般云印 (11) 福島県市町村総 ・消防補償等特				
													(12) 福島県市町村総 ・消防賞じゅつ	合事務組合 金特別会計			

(注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。

※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。 ※6:ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(13) 福島県市町村総合事務組合 ・非常勤職員公務災害補償等特別会計

(14) 福島県市町村総合事務組合 ・自治会館管理特別会計

福島県葛尾村

### (1) 普通合計の状況(市町材)

(1) 普迪安計の初	<b>、沈ん ( IT) 四.</b> )状況(単位 千円					地方税の状	況(単位 千円・	%)		
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	1077	収入済額	構成比	超過課	税分
地方税	45, 838	1. 5	45, 838	5. 1	普通税		45, 838	100.0		
地方譲与税	21, 378	0. 7	21, 378	2. 4	法定普通税		45, 838	100.0		
利子割交付金	237	0.0	237	0.0	市町村民税		9, 307	20. 3		
配当割交付金	103	0.0	103	0.0	個人均等割		69	0. 2		
株式等譲渡所得割交付金	20	0.0	20	0.0	所得割		6, 854	15.0		
地方消費税交付金	11, 040	0.4	11, 040	1. 2	法人均等割		2, 090	4.6		
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割		294	0.6		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税		33, 413	72. 9		
自動車取得税交付金	3, 430	0.1	3, 430	0.4	うち純固定資産税		28, 999	63. 3		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税		2, 775	6. 1		
地方特例交付金	3, 622	0.1	3, 622	0.4	市町村たばこ税		343	0.7		
児童手当及び子ども手当特例交付金	1, 998	0.1	1, 998	0. 2	鉱産税		-	-		
減収補塡特例交付金	1, 624	0.1	1, 624	0. 2	特別土地保有税		-	_		
地方交付税	1, 602, 301	53. 1	818, 210	90.4	法定外普通税		-	-		
普通交付税	818, 210	27. 1	818, 210	90. 4	目的税		-	-		
特別交付税	701, 911	23. 3	_	-	法定目的税		-	-		
震災復興特別交付税	82, 180	2. 7	-	-	入湯税		-	-		
(一般財源計)	1, 687, 969	56.0	903, 878	99.8	事業所税		-	-		
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	都市計画税		-	-		
分担金・負担金	3	0.0	-	-	水利地益税等		-	-		
使用料	1, 649	0.1	1, 485	0. 2	法定外目的税		-	-		
手数料	166	0.0	-	-	旧法による税		-	-		
国庫支出金	84, 403	2. 8	-	-	合計		45, 838	100.0		
国有提供交付金(特別区財調交付金)	_	-	-	-						
都道府県支出金	690, 074	22. 9	-	-	区分		平成23年度		平成22年	F度
財産収入	1, 698	0.1	120	0.0	後収率 現 合計		99. 2	82. 3	98. 0	91. 1
寄附金	3, 791	0. 1	-	-	徴収率 現・計   市町村民	<b>R</b> 税	95. 9	63. 0	97. 1	84. 8
繰入金	280, 143	9.3	-	-	(%) 世   純固定資	資産税	100.0	86. 9	98. 1	93. 1
繰越金	65, 627	2. 2	-	-						
諸収入	102, 390	3.4	_	-	公営事業等への総	繰出	国民健康	東保険事業:	会計の状況	
地方債	96, 821	3. 2	-	_	合計	65, 971	実質収支			48, 633
うち減収補塡債(特例分)	_	-	-	-	上水道	_	再差引収支		1	33, 422
うち臨時財政対策債	61, 821	2. 1	_	-	工業用水道		加入世帯数(世帯)			284
歳入合計	3, 014, 734	100.0	905, 483	100.0	交通	-	被保険者数(人)			599
	<u>_</u>				電気	-	☆/□ № ★ 「保険	税(料)収力	入額	9
					国民健康保険	22, 928	做保険有 ↓ 国庫	支出金		377
					その他	43, 043	ハヨッ  保険	給付費	1	381

(/土	朳	
	- 2	16

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建	建設事業費	(A)のうちst	
議会費	48, 051	1.7		-		48, 051
総務費	1, 800, 952	64. 5		-		1, 235, 076
民生費	420, 638	15. 1		38, 172		300, 540
衛生費	40, 523	1.5		-		26, 196
労働費	4, 142	0.1		-		328
農林水産業費	42, 616	1.5		-		39, 685
商工費	2, 833	0.1		1, 633		1, 200
土木費	29, 735	1.1		26, 993		24, 547
消防費	75, 012	2.7		15, 750		59, 263
教育費	90, 827	3.3		243		88, 717
災害復旧費	· –	-		-		· –
公債費	235, 586	8.4		_		235, 586
諸支出費	-	_		_		
前年度繰上充用金	_	_		_		_
歳出合計	2, 790, 915	100.0		82, 791		2, 059, 189
	2, 700, 010	100.0		02, 701		2, 000, 100
	性質別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充		経常収支比率
義務的経費計	630, 059	22. 6	570, 434		556, 506	57. 5
人件費	315, 516	11.3	312, 364		309, 104	32. 0
うち職員給	178, 744	6.4	177, 048		-	-
扶助費	78, 957	2. 8	22, 484		11, 816	1. 2
公債費	235, 586	8. 4	235, 586		235, 586	24. 4
元利償還金	235, 556	8. 4	235, 556		235, 556	24. 4
内 うち元金	214, 564	7.7	214, 564		214, 564	22. 2
訳 うち利子	20, 992	0.8	20, 992		20, 992	2. 2
一時借入金利子	30	0.0	30		30	0.0
その他の経費	2, 078, 065	74. 5	1, 437, 035		242, 714	25. 1
物件費	235, 534	8. 4	177, 329		74, 313	7.7
維持補修費	6, 177	0. 2	6, 177		_	-
補助費等	140, 336	5.0	134, 497		113, 214	11.7
うち一部事務組合負担金	65, 436	2. 3	65, 426		60, 047	6. 2
繰出金	65, 971	2. 4	54, 467		54, 467	5. 6
積立金	1, 617, 623	58. 0	1, 052, 141		· -	_
投資・出資金・貸付金	12, 424	0.4	12, 424		720	0.1
前年度繰上充用金		_	-			
投資的経費計	82, 791	3.0	51, 720			
うち人件費	13, 680	0.5	13, 680			
普通建設事業費	82, 791	3.0	51, 720			
ス た 2曲 Bh	15, 847	0.6	2, 158			
内   うた 単独	66, 944	2. 4	49, 562			
訳が受ける			-10, 502			
失業対策事業費	_	_	_			
蔵出合計	2, 790, 915	100.0	2, 059, 189			
~~	2, 700, 510		2, 555, 100			

## (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

- 般会計等の財政状況(単位:百万円)

一般会計等の財政状況(単位:自万円) 他会計等 地土庫											
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	からの 繰入金	地方債 現在高	備考				
1 一般会計	3,015	2,791	224	179	280	1,499					
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14								1			
15											
16								実質赤字額			
+ 一般会計等(純計)	3,015	2,791	224	179		1,499					

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考	
1 国民健康保険	370	319	51	51	23	0	0	-		
2 介護保険	181	157	24	24	37	0	0	-		
3 後期高齢者医療	9	8	1	1	8	0	0	-		
4 簡易水道	3	3	0	0	0	0	0	-	法非適用企業	
5										
6										
7										
В										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
n										
12										
13										
4										
5										
6										
77										
8										
9										
10										
п										
12										
13										
4										
15										連結
H 公営企業会計等		/		79						

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	双葉地方広域市町村組合 ・一般会計	1,989	1,914	75	75		1,452		
2	双葉地方広域市町村組合 ・下水道事業特別会計	52	44	8	8		59		
3	福島県後別高齢者医療広域連合 ・一般会計	2,512	2,463	49	49	6			
4	福島県後期高齢者医療広域連合 ・後期高齢者医療特別会計	231	223	8	8	2			
5	福島県市町村総合事務組合 ・一般会計	14,298	13,783	514	514				
6	HI & B SERVELLO A SERVELA	2,516	2,516	0	0				
7	HI do HE STORY AND A SECTION A	727	726	1	1				
8	福島県市町村総合事務組合 ・非常勤職員公務災害補債等特別会計	222	222	0	0				
9	※食用すむは※人を取組人	21	20	1	1				
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
ät	一部事務組合等				656		1,511	0	

934,438 5.9

853,831

5.9

(C)-(D)

(単年度)

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 819,339

9.3

13.1

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産 平成23年度 福島県葛尾村

平月	成21年度	平成22年度		負担比率 (·	千円・%)	内訳			平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比
*	地方公共	団体財政健:	全化法に基づき将	来負担比率の	)算定対象とた	いている法人	、については、	〇印を付与し	ている。			
*	地方公共	団体が①25%	%以上出資している									
82 8† ‡	也方公社・	第三セクター	·等									
81												
79 80												
78												
76 77												
74 75												
73 74												
71												
70												
68 69												
66												
65												
63 64												
62												
60												
58 59	$\pm$											
57												
53 54 55 56 57 58 59												
53												
51 52												
50 51												
49												
47 48												
45 46												
44												
42												
40												
39												
37												
35 36												
34												
32												
30												
28 29 30 31 32												
27												
26												
24 25												
22												
20												
19												
17												
15 16												
14												
12												
11												

ŕ	債費負担の状況 実質公債費比率 (千	円・%)				将来負担の	B 172			4	<b>将来負担比率</b>	(千円・9	4)			
H	医分		平成22年度	平成23年度	分母比		区分	平成21年度	平成22年度		分母比	(+11.9	内訳	平成21年度 平	成22年度 平成23	年度 分母比
=	利償還金	266.568	231.084			<b>应</b> 本負扣錠	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		1.616.644		175.6	DET	業に係るもの	十,0,21 平,2 干,5	从22年及 十从25	+及 万母比
70		200,308	231,064	214,304	25.1	刊不具造版						,			_	_
36	減債基金積立不足算定額	-	_	_	_		債務負担行為に基づく支出予定額	7,746	5,146	2,582	0.3		る五省協定等に係るもの	_	-	-
1 5	- │満期一括償還地方債に係る年度割相当額 -	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	-	-	-	-	-	:地改良事業に係るもの	-	-	-
禾	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	-	-	-	-		組合等負担等見込額	33,714	61,024	59,406	7.0	70 森林約	合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-
信	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	9,762	5,872	4,519	0.5		退職手当負担見込額	361,060	315,321	371,079	43.5	負 地方公	、務員等共済組合に係るもの	-	-	-
4	養 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	2,690	2,682	2,695	0.3		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	担依頼力	-地の買い戻しに係るもの	-	-	-
_	一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字額	-	-	-	-	行 為 社会社	a祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-
	合計 (A)	279,020	239,638	221,778			組合等連結実質赤字額負担見込額	į -	-	-	-	損失补	償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-
	内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		合計	(E) 2,021,293	1,998,135	1,931,968		引き受	けた債務の履行に係るもの	-	-	-
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金	654,895	721,362	1,414,408	165.7	その化	2上記に準ずるもの	7,746	5,146	,582 0
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定歳入	-	-	-	-	<u> </u>	簡易水道	-	-	-
信	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	1,342,339	1,389,210	1,386,030	162.3					
矛	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計	(F) 1,997,234	2,110,572	2,800,438		企業債等 繰入見込額				
1	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	将来負担比	率((E)-(F))/((C)-(D))×100	2.9	-	-		体八元匹数				
12	≒	-	_	-	-			l.					その他の会計	_	-	-
Ä	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-								地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	2,582	2,582	2,582	0.3	健	全化判断比率 平成23年度	早期健全化基準 財	政再生基準			公社・ 三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-
	利子補給に係るもの	108	100	113	0.0	実質	表字比率 -	15.00	20.00			ニビクサ	その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-
特	定財源の額 (B)	-	-	-		連約	吉実質赤字比率 -	20.00	30.00		!!		•		'	
標	準財政規模 (C)	1,022,218	1,119,214	1,025,461		実質	弘債費比率 7.0	25.0	35.0							
算	入公債費等の額 (D)	202,879	184,776	171,630		将来	- 負担比率	350.0								
	(C) (D)	010.000	004400	050.001		1 —				ļi.						

## (3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

平成23年度

福島県葛尾村

福島県平均

55.2



◆ 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

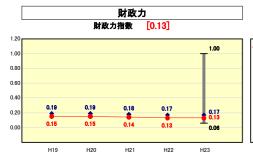
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 全国平均 福島県平均 89/13

財政力指数は、0.13と類似団体平均を下回っている。本村は、産業基盤が脆弱であり、今後も 状況の変化に期待できないことから、村税の収納率の向上をめざすなど自主財源の確保に努め



H22

H23

### 全国平均 87.6

経常収支比率は、地方債の借入限度額を設定し借入額を抑制してきたため、公債費の 占める割合が平成20年度から減少してきたが、東日本大震災の影響により地方税が大幅 に減少し栄光により将来的に改善の見込みである。今後は、「葛尾村集中改革プラン」に 基づき、事務事業及び組織機構等の見直しを含め、人件費、物件費、補助費等の更なる

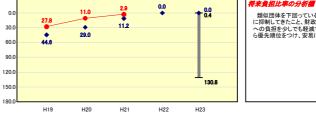


H19

H20



類似団体を下回っている。主な要因としては、平成15年度から地方債の借入限度額を1億円程度 に抑制してきたこと、財政調整基金の積近による充当可能基金の増額等があげられる。今後も後世 への負担を少しても軽減するよう新規事業の実施等については、必要性、緊急性、効果等の観点か ら優先順位をつけ、安易に延備事業を導入しないこととし、財政の健全化を固る



公債費負担の状況 類似团体内層位 実質公債費比率 [7.0%] 17/13 11.5

## **△** 6.3 10.0 12.7 20.0 22.8 30.0

H21

H22

H23

将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

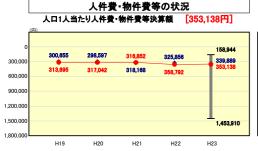
### 智質公債費比率の分析機 実質公債費比率は、類似団体平均を下回っている。平成15年度から地方債発行限度を 設定し借入額を1億円程度に抑制してきたことから、平成22年度以降は低下する見通しで

ある。引き続き集中改革プランに基づき計画的な地方債の発行に努める。



全国平均 福島県平均 7.17

平成12年以降の組織機構の見直し及び退職者の不補充等により、現状では類似団体 の平均値で推移している。引き続き効率的な事務運営に努め、より適切な定員管理に努め



H21

H19

H20

### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析機

類似団体内順位

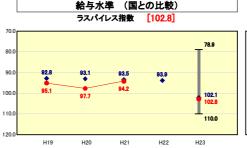
人件費及び物件費については、財政健全化対策の一環として抑制に努めてきており、人 件費については成果がみられているが、物件費については、情報システム事業により類似 団体平均を上回っていると思われる。

福島県平均

142,785

全国平均

119,477



### 類似団体内順位 全国市平均 全国町村平均 106.9

類似団体平均を上回っているが、、職員構成の変動が増加要因となっている。理由として は、本村の職員数が少ないため、国家公務員の階層平均で対比すると経験年数によって 増加要因となっている。一部手当のカットを実施しており、今後も給与の適正化に努める。

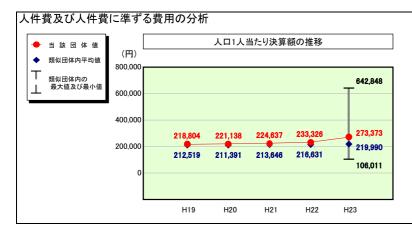
## (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

福島県葛尾村

### 経常収支比率の分析 物件費 類似団体内順位 全国平均 福島県平均 当該団体値 7/131 13.1 12.8 1,524 人(H24.3.31現在) 84.23 km² ◆ 類似団体内平均値 入出 3.014.734 千円 実 質 公 債 費 比 率 7.0 % 類似団体内の 物件費に係る経常収支比率が高く推移してきたが、東日本大震災による避難 2,790,915 千円 63 担比 最大値及び最小値 のため、施設管理等の委託料が減になったことから低くなった。 収 178,506 千円 H19 I-O H20 I-O H21 I-O 1,025,461 千円 12.2 H22 I — O H23 1,498,901 千円 30.0 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。 40.0 50.0 H19 H20 H21 H22 H23 人件費 類似団体内順位 補助費等 全国平均 福島県平均 類似団体内順位 全国平均 福島県平均 121/131 25.4 10.3 人件費の分析欄 補助費等の分析欄 10.0 13.3 人件費については、議員数の削減、議員並びに特別職等給与カット、職員の 22 補助費等に係る経常収支比率は、類似団体平均値を下回っている。 手当の見直し及び職員退職による欠員不補充などにより、類似団体平均値で 今後も、引き続き事業経費の負担のあり方や、行政効果を精査し、補助金の廃 20.0 23.8 推移してきたが、東日本大震災の影響により経常経費が低くなったことにより経 止、縮小、終期の設定等により整理合理化を図る。 10.0 堂収支比率が大きくなった 30.0 12.0 11.8 今後も各種抑制策を講じるとともに、定員適正化計画の進行管理に努め、人 32.0 20.0 件費の削減を図り、適正な水準の維持に努める。 40.0 30.0 50.0 28.7 48.1 60 ( H23 H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 扶助費 その他 類似団体内順位 全国平均 福島県平均 類似団体内順位 全国平均 福島県平均 10.5 12.2 14.2 扶助着の分析機 0.0 その他に係る経常収支比率は、類似団体平均を下回っている。しかし、他会計 1.2 扶助費は、増加傾向にあるものの、経常収支比率は類似団体平均を大きく下 への繰出金、特に介護保険特別会計への繰出金については年々増加してお 5.6 回っている。 2.5 り、単独事業内容の見直しを行うなど、普通会計の負担額を減らしていくよう努 今後も、自立支援等を進めるとともに、資格審査等の一層の適正化を図る。 10.0 10.2 20.0 8.0 24.3 30.0 9.0 10.0 12.0 H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23 公債費 公債費以外 類似団体内順位 全国平均 福島県平均 類似団体内順位 全国平均 福島県平均 93/131 公債費の分析機 公債費以外の分析機 0.0 30.0 公債費は、平成15年度から地方債発行限度を設定し借入額を1億円程度に 36.7 公債費以外に係る経常収支比率は、類似団体平均を下回っている。 抑制してきたことから、平成22年度以降は低下する見通しである。引き続き集 40.0 今後も、事務事業の見直しを図るなど一層の経費削減に努めていく。 10.0 中改革プランに基づき計画的な地方債の発行に努める。 50.0 20.6 20.0 60.0 24.4 60.6 30.0 70 40.0 80.0 40.5 81.3 50.0 90.0 H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



### 人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 人件費 315, 516 207. 031 14. 9 180, 184 賃金 (物件費) 53 509 35 111 16 907 107 7 一部事務組合負担金(補助費等) 43, 669 28, 654 27, 647 3.6 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 2, 804 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費) ▲退職金 15, 073 8. 417 79.1 13, 680 **A** 32, 724 8, 976 **A** 21, 472 3, 862 **1**9, 831 132.4 8. 3 24. 3 合計 416, 621 273, 373 219, 990

<u>· 参考</u>			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	20. 34	19. 65	0. 69
ラスパイレス指数	102. 8	102. 1	0. 7

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 300,000 類似団体内の 最大値及び最小値 177,887 200,000 77,660 74,139 100,000 70,799 59,215 74,654 48,313 -102,434 H19 H20 H21 H22 H23

元利償還金の額	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	
			規模四件子均(门)	対比(%)
(繰上償還額等を除く)	214, 564	140, 790	151, 357	▲ 7.0
責立不足額を考慮して算定した額	=	=	=	_
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	_
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に たてたと認められる繰入金	=	=	30, 034	=
- 部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	4, 519	2, 965	8, 004	▲ 63.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2, 695	1, 768	4, 270	▲ 58.6
-時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	38	_
▲特定財源の額	-	_	<b>▲</b> 7, 801	_
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>▲</b> 171, 630	<b>▲</b> 112, 618	<b>▲</b> 126, 685	<b>▲</b> 11. 1
計	50, 148	32, 906	59, 215	<b>▲</b> 44. 4

(参考) 普通建設事業費(	の分析								
(円)	人口1人当たり決算額の推移								
500,000									
400,000									
300,000			•	•\					
200,000	•		<u> </u>		<b>\</b>				
100,000	_								
0	H19	1100	1101	1100	H23				
	пія	H20	H21	H22	п23				
	── 当該	平均値							

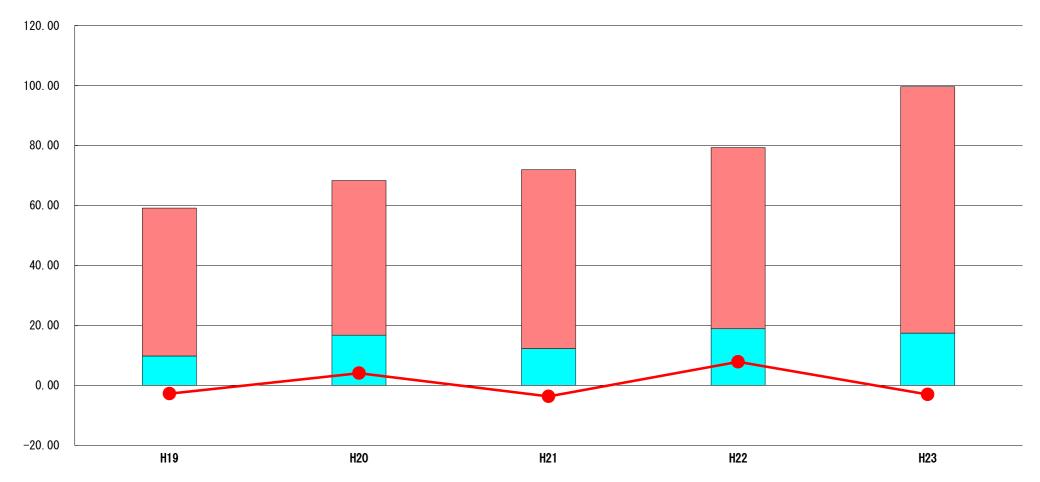
普通建設事業費										
		当該団体決算額	人口1人当たり決算額							
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)			
H19		267, 540	163, 134	<b>▲</b> 16. 7	161, 387	3. 9	<b>▲</b> 20.6			
	うち単独分	266, 311	162, 385	<b>▲</b> 11. 2	66, 794	▲ 3.6	<b>▲</b> 7.6			
H20		301, 190	188, 479	15. 5	176, 539	9. 4	6. 1			
	うち単独分	297, 915	186, 430	14. 8	75, 430	12. 9	1. 9			
H21		702, 533	445, 770	136. 5	262, 834	48. 9	87. 6			
	うち単独分	671, 812	426, 277	128. 7	147, 509	95. 6	33. 1			
H22		655, 840	419, 067	<b>▲</b> 6.0	334, 234	27. 2	<b>▲</b> 33. 2			
	うち単独分	314, 293	200, 826	<b>▲</b> 52.9	135, 366	▲ 8.2	<b>▲</b> 44. 7			
H23		82, 791	54, 325	<b>▲</b> 87. 0	216, 155	<b>▲</b> 35. 3	<b>▲</b> 51. 7			
	うち単独分	66, 944	43, 927	<b>▲</b> 78. 1	108, 827	<b>▲</b> 19.6	<b>▲</b> 58.5			
過去5年間平均		401, 979	254, 155	8. 5	230, 230	10.8	<b>▲</b> 2.3			
	うち単独分	323, 455	203, 969	0. 3	106, 785	15. 4	<b>▲</b> 15. 1			

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

福島県葛尾村

## 標準財政規模比(%)



### 標準財政規模比(%)

			TI .	74 - 141 - 14 1AC 1AC	×20 (70)
区分	H19	H20	H21	H22	H23
財政調整基金残高	49. 32	51. 60	59. 73	60. 48	82. 20
実質収支額	9. 80	16. 72	12. 21	18. 84	17. 41
実質単年度収支	<b>▲</b> 2.78	4. 06	▲ 3.72	7. 81	▲ 3.06

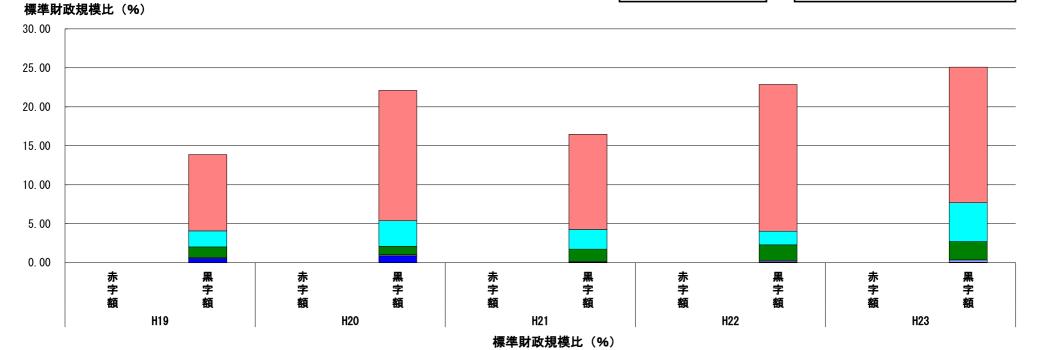
## 分析欄

財政調整基金は、標準財政規模の10%を大きく上回っており、不測の事態に対応できる 備えが整っていると思われる。実質収支比率は、望ましいとされるおおむね3%~5%程度 を大きく上回っており、今後も同程度で推移するよう努める。

## (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成23年度

福島県葛尾村



年度 会計	H19	H20	H21	H22	H23	
一般会計	9. 80	16. 72	12. 21	18. 84	17. 41	
国民健康保険	2. 04	3. 29	2. 52	1. 75	4. 98	
介護保険	1. 37	1. 07	1. 59	1. 98	2. 34	
簡易水道	0. 11	0. 14	0. 09	0. 19	0. 31	
後期高齢者医療	ı	0. 02	0. 02	0. 07	0. 06	
その他会計 (赤字)	-	-	-	_	-	
その他会計(黒字)	0. 55	0. 87	0. 04	0. 05	-	

## 分析欄

普通会計及び特別会計においても赤字は生じていません。今後も赤字に転じることのないよう、財政の健全性を確保していきます。

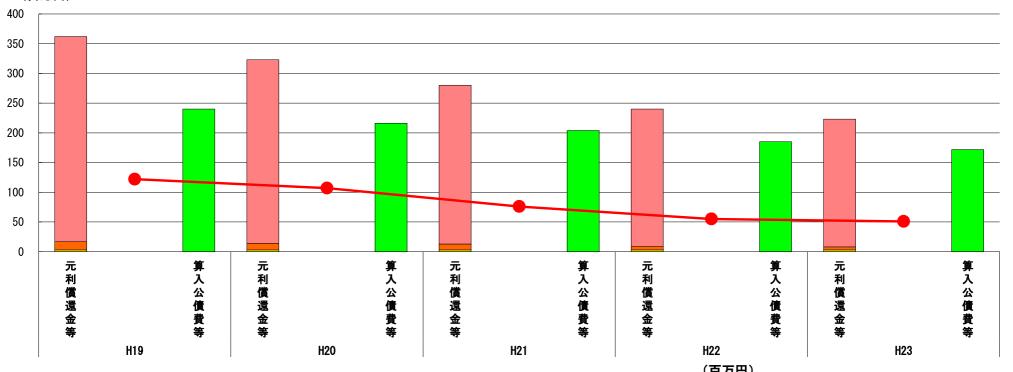
<sup>※</sup>平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

福島県葛尾村





_						
分子の構造	年度	H19	H20	H21	H22	H23
	元利償還金	345	309	267	231	215
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	1	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	1	-
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	_	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	14	11	10	6	5
	債務負担行為に基づく支出額	3	3	3	3	3
	一時借入金の利子	-	-	-	-	_
算入公債費等(B)	算入公債費等	240	216	204	185	172
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	122	107	76	55	51

### 分析欄

公債費に関しては、起債発行額の抑制と償還期間満了による元利償還金の減少により年々縮小してきています。新規発行分についても交付税措置率の高い有利な起債を発行し、実質公債費比率上昇を抑制しており、今後も適正な管理に努め、公債費の圧縮を図ります。

<sup>※</sup>平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

<sup>※</sup>平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

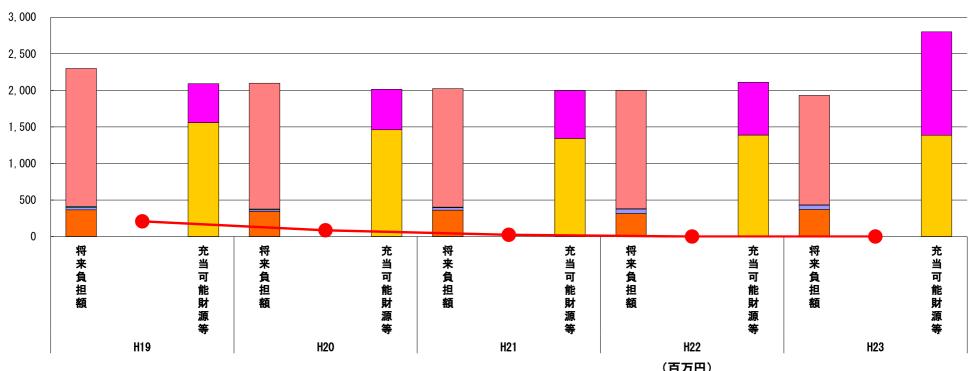
<sup>※</sup>平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

福島県葛尾村

(百万円)



						(0)(1)
	年)	雙 H19	H20	H21	H22	H23
	一般会計等に係る地方債の現在高	1, 889	1, 721	1, 619	1, 617	1, 499
	債務負担行為に基づく支出予定額	13	10	8	5	3
	公営企業債等繰入見込額	-	-	-	-	_
	組合等負担等見込額	31	22	34	61	59
将来負担額(A)	退職手当負担見込額	367	345	361	315	371
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	_
	連結実質赤字額	-	-	-	-	_
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	_
	充当可能基金	531	553	655	721	1, 414
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	-	-	-	-	_
	基準財政需要額算入見込額	1, 560	1, 461	1, 342	1, 389	1, 386
(A) - (B)	将来負担比率の分子	208	85	24	<b>▲</b> 112	▲ 868

### 分析欄

平成22年度より将来負担額に対し、充当可能財源可能基金が大きいため、マイナスとなっている。これは、震災復興基金が大きくなたことが要因しているる。

<sup>※</sup>平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。